

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	製品企画(総合)	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2C01	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	製品設計・商品企画を楠祭、外部デザインコンペティションなどに参加し学ぶ					
到達目標	<p>①ガントチャート等によるスケジュール管理ができる。</p> <p>②Fusion360とRevitを用いた3Dモデリングおよび連携ソフトでのレンダリングを行い、画像を出力できる。</p> <p>③CAE解析による最適形状への改善ができる。</p> <p>④プロダクトデザイン検定2級相当のモノづくりに関する基礎知識を問う問題で60点以上の点数を取得できる</p>					
教材名	・配布プリント					
資格の 取得目標	・なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして減速機・コンピュータ機器・エネルギー関連機器などの機械製図・Fusion360での組立図・デジタルモックアップについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	・スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、eラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	5%	55%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	<p>製品企画(総合)オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス説明と授業の目的・評価基準の共有 ・プロダクトデザインの背景と社会との関わり ・PDCAサイクルとガントチャートの作成
2	<p>プロダクトデザインと社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザインとビジネスの関連性の学習 ・ユーザ調査のための手法の学習 ・ビジネスフレームワークの基礎知識の習得
3	<p>アイデア発想と企画原案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデア発想法の実践とビジネスへの応用 ・コンセプト作成のための手法の学習 ・個人制作の企画原案作成と構造化
4	<p>実習基礎①(Fusion360基本操作)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Fusion360の説明と基本操作についての講義 ・Fusion360を用いたモデリング練習①の実施 ・デジタルファブリケーション機器の概要理解
5	<p>実習基礎②(Fusion360モデリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Fusion360のモデリング練習②の実施 ・スケッチと立体化の応用操作の学習 ・提出物の期限と完成度の重要性についての説明
6	<p>実習基礎③(レンダリング講義)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンダリング手法についての講義と実践 ・Fusion360を使った写実的なレンダリング表現の学習 ・提出期限と完成度を意識した課題制作の開始
7	<p>実習基礎④(レンダリング実践)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Fusion360を用いたレンダリングの実践 ・レンダリング画像の調整と出力手法の習得 ・作品のビジュアル向上に向けた工夫の検討
8	<p>実習基礎⑤(3Dプリンタの基礎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3Dプリンタについてと作品制作開始 ・マニュアルを見ずに3Dプリンタを使って立体物の出力ができる能力の習得 ・工具(超音波カッター、リユーターなど)を使った加工法の学習

回数	講義内容
9	実習基礎⑥(デザイン企画) <ul style="list-style-type: none"> ・デザイン企画と企画書作成の実施 ・作品制作の詳細な構想と計画立案 ・デジタルファブリケーション機器を用いた制作の進行
10	機械工学①(CAEの基礎) <ul style="list-style-type: none"> ・1年次の内容の振り返りテストとCAEについての基礎知識の講義 ・機械設計者に必要な有限要素解析手法の学習 ・Fusion360のCAE機能の基本操作の確認
11	機械工学②(片持ち梁の解析) <ul style="list-style-type: none"> ・CAEソフトによるシミュレーション①片持ち梁の実施 ・片持ち梁に荷重をかけるシミュレーションでCAEの操作を学ぶ ・CAEに必要な条件設定ができるようになるための演習
12	機械工学③(結果の見方と穴あき鋼板) <ul style="list-style-type: none"> ・CAEソフトによるシミュレーション②穴の開いた鋼板の実施 ・解析結果の見方についての講義 ・複数パターンの解析条件を設定し一人で解析ができるようになるための演習
13	機械工学④(応力とひずみ) <ul style="list-style-type: none"> ・応力・ひずみについての講義 ・弾性変形と塑性変形についての講義 ・構造解析の結果レポートを抽出する練習
14	機械工学⑤(すべり軸受の解析) <ul style="list-style-type: none"> ・CAEによるシミュレーション③すべり軸受の実施 ・強度改善が必要な個所を検討し、改善した形状で再度解析を行う演習 ・最適形状を検討できるようになるための学習
15	機械工学⑥(強制変位と改善) <ul style="list-style-type: none"> ・縦弾性係数についての講義 ・CAEによるシミュレーション④強制変位の実施 ・鉤合爪形状に強制変位を与えた解析と強度向上の修正演習
16	CG II ①(Revit外観モデリング1) <ul style="list-style-type: none"> ・3Dモデリングソフトでの建築物制作技術の学習 ・Revit① 概要・外観モデリング編の開始 ・Revitを用いて2階建て住宅の図面からBIMデータを作成する基礎演習

回数	講義内容
17	CG II ① (Revit外観モデリング1) ・3Dモデリングソフトでの建築物制作技術の学習 ・Revit① 概要・外観モデリング編の開始 ・Revitを用いて2階建て住宅の図面からBIMデータを作成する基礎演習
18	CG II (Revit外観モデリング2) ・Revit① 概要・外観モデリング編の継続 ・外観モデリングの詳細化と各種建具の配置 ・完成度と提出期限を意識したモデリングの実施
19	デザインプロセスと視覚化 ・デザインプロセスについての詳細な学習 ・視覚化のための手法の学習と実践 ・アイデアから具体的なデザインへの展開演習
20	プロジェクト企画①(フィールドワーク準備) ・フィールドワーク準備①の実施 ・フィールドワーク準備②の実施と調査計画の立案 ・グーグルフォームの使い方の学習とアンケート作成
21	プロジェクト企画②(フィールドワーク実施) ・フィールドワーク①の実施とデータ収集 ・フィールドワーク②の実施とユーザーニーズの把握 ・現場での調査結果の記録と整理
22	プロジェクト企画③(フィールドワークまとめ) ・フィールドワークまとめの実施 ・KJ法による意見・解答の構造化までの一連の流れを行う演習 ・フィールドワーク発表による成果の共有
23	実習応用①(デザイン設計) ・デザイン設計と設計書作成の実施 ・詳細な3Dモデリングを用いた設計の進行 ・デザイン試作に向けたデータ準備と確認
24	機械工学⑦(荷重と応力集中) ・荷重について(静荷重と動荷重)の講義 ・応力集中とその影響についての講義 ・安全率の概念についての講義

回数	講義内容
25	機械工学⑧(応力緩和シミュレーション1) ・CAEによるシミュレーション⑤応力緩和-1の実施 ・台車にかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善検討 ・現時点でのベストプラティスな形状に変更する演習
26	機械工学⑨(応力緩和シミュレーション2) ・CAEによるシミュレーション⑥応力緩和-2の実施 ・ハンガーにかかる応力値から安全に使用できる応力値までの改善検討 ・CAEによるシミュレーション⑦応力緩和-3 角は取れの実施
27	実習応用②(デザイン試作と評価) ・デザイン試作の実施と動作確認 ・デザイン評価と科学的研究の学習 ・デザイン評価の実施とフィードバックの収集
28	実習応用③(デザイン修正・再試作) ・デザイン修正・再試作の実施 ・再度デザイン評価を行い作品の品質を高める工程 ・工具を使って作品の最終的な仕上げを行う
29	プロジェクト企画④(楠祭出展準備1) ・楠祭出展準備の開始 ・楠祭での円滑なブース運営に向けた企画立案とスケーリング ・出展物の準備と制作計画の策定
30	プロジェクト企画⑤(楠祭出展準備2) ・楠祭出展準備の継続と作業の進行 ・個人制作の計画・制作の進捗確認 ・ブース運営に向けたリハーサルと課題抽出
31	前期まとめ ・前期の振り返り ・筆記とCAEシミュレーションテストの実施
32	後期オリエンテーション ・卒業研究のチーム決定と役割分担 ・卒業研究のスケジュール管理の開始 ・Excel等を用いたガントチャートでのスケジュール表作成演習

回数	講義内容
33	マーケティングとデザイン ・マーケティングとデザインについての学習 ・ターゲット分析と市場調査の手法 ・デザインにおけるマーケティング戦略の役割理解
34	プロジェクト企画⑥(アイデア創出事業1) ・さいしんコラボ産学官 アイデア創出事業のパワポ作り開始 ・外部コンペティションに向けたビジネスフレームワーク体験 ・思考のまとめ方やアイデアを創出する手法を学ぶ演習
35	プロジェクト企画⑦(アイデア創出事業2) ・さいしんコラボ産学官 アイデア創出事業のパワポ作り継続 ・ブレインストーミングを通じたアイデア創出の実践 ・企画内容の効果的なスライド化の検討
36	プロジェクト企画⑧(アイデア創出事業3) ・さいしんコラボ産学官 アイデア創出事業のパワポ作り完成 ・プレゼンテーション資料のブラッシュアップと確認 ・提出物の期限と完成度の最終チェック
37	技術とデザイン① ・技術とデザインについての学習開始 ・最新技術のプロダクトデザインへの応用事例 ・技術的制約とデザインのバランスについての考察
38	技術とデザイン② ・技術とデザインの継続学習と応用 ・実際の製造現場の事例研究を通じた知識深化 ・モノづくりに必要な基礎知識の総合的な習得
39	CG II ⑤(RevitとTwinmotion連携1) ・Revit② Twinmotionとの連携による建築ビジュアライゼーション開始 ・RevitとTwinmotionを連携し、レイアウト・マテリアル・環境設定を行う演習 ・建築物の高品質なレンダリング準備の実施
40	CG II ⑥(RevitとTwinmotion連携2) ・Revit② Twinmotionとの連携による建築ビジュアライゼーションの継続 ・レンダリング画像・動画の出力設定と実践 ・PhotoshopやPremiere proで簡単な編集ができるようになるための学習

回数	講義内容
41	CG II ⑦ (Fusion360リアル寸法モデリング1) ・Fusion360① リアル寸法モデリングの開始 ・既存製品の寸法測定と精緻なモデリング手法 ・家具小物の制作技術を学ぶ実践演習
42	CG II ⑧ (Fusion360リアル寸法モデリング2) ・Fusion360① リアル寸法モデリングの継続 ・精密な3Dモデルの作成とアセンブリ機能の活用 ・完成したモデリングデータの評価と修正
43	CG II ⑨ (プロダクトビジュアライゼーション1) ・Fusion360② Twinmotionによるプロダクトビジュアライゼーションの開始 ・プロダクトモデルのTwinmotionへのインポートと初期設定 ・製品の魅力を伝えるための環境とライティング設定
44	CG II ⑩ (プロダクトビジュアライゼーション2) ・Fusion360② Twinmotionによるプロダクトビジュアライゼーションの継続 ・高品質なレンダリング画像・動画の出力 ・画像編集ソフトを用いた最終的なビジュアル調整
45	機械工学⑩ (応力緩和シミュレーション3) ・CAEによるシミュレーション⑧ 応力緩和-4 断面急変はNGの実施 ・応力集中を緩和する方法をCAEで深く検討する演習 ・これまでの解析技術の応用と実践的な形状最適化
46	実習応用④ (デザイン修正と再試作) ・デザイン評価、デザイン修正・再試作の最終段階 ・試作品の改善と完成度の更なる向上 ・デジタルファブリケーション機器を用いた最終出力と確認
47	プロジェクト企画⑨ (楠祭の反省) ・PDCAサイクルの実践と楠祭の反省会の実施 ・イベント運営の評価と改善点の洗い出し ・次年度に向けた引継ぎ事項の整理と文書化
48	プロジェクト企画⑩ (卒業研究チームと計画) ・卒業研究のスケジュール管理と計画立案 ・チームでの作業分担とマイルストーン設定の実施 ・ガントチャートの運用と進捗確認の徹底

回数	講義内容
49	プロジェクト企画⑪(発表練習1) <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究のスケジュール管理、発表練習の開始 ・プレゼンテーションの基本技法とスライドの活用法の学習 ・模擬発表を通じた表現方法の課題抽出
50	プロジェクト企画⑫(発表練習2) <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究のスケジュール管理、発表練習の継続 ・ファシリテーター指導のもとでのフィードバックの受容 ・発表内容の改善とスライドの修正作業
51	プロジェクト企画⑬(発表と総括) <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究のスケジュール管理、発表練習、総括の実施 ・最終的なプレゼンテーションの実施と評価 ・1年間のプロジェクト企画の振り返りとまとめ
52	総合制作①(企画とモデリング) <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の知識を統合した総合制作の開始 ・Fusion360を用いた最終的なデザイン設計とモデリング ・BIMやリアル寸法モデリング技術の応用実践
53	総合制作②(シミュレーションと評価) <ul style="list-style-type: none"> ・制作物に対するCAEシミュレーションの実施と確認 ・解析結果に基づく形状の最適化と安全性の確保 ・デザイン評価手法を用いた客観的評価の実施
54	総合制作③(試作とビジュアライゼーション) <ul style="list-style-type: none"> ・3Dプリンタ等を用いたプロトタイプの作成と検証 ・Twinmotionを用いた高品質なレンダリングと画像作成 ・プレゼンテーション用素材の完成と最終調整
55	検定対策①(プロダクトデザイン検定) <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン検定2級を想定した学習の開始 ・プロダクトデザインの知識を検定取得に向けて学ぶ ・重要語句や概念の総復習
56	検定対策②(検定過去問演習) <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン検定2級の試験対策と実践演習 ・模擬テストの実施と間違いやすいポイントの解説 ・7割以上の点数を獲得するための弱点補強の実施

回数	講義内容
57	学期末テスト準備① <ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト準備の開始 ・デザインプロセス、視覚化、マーケティング分野の復習 ・技術とデザインの関連性についての再確認
58	学期末テスト準備② <ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト準備の継続 ・機械工学のシミュレーション技術と解析手法の復習 ・CG II や実習で学んだソフトウェア操作の再確認
59	学期末テスト準備③ <ul style="list-style-type: none"> ・学期末テスト準備の最終確認 ・定期的な小テストの内容の振り返りと知識定着 ・質疑応答と試験に向けた総まとめの実施
60	学期末テスト <ul style="list-style-type: none"> ・プロダクトデザイン概論の学期末テスト実施 ・デザイン思考に基づいた現代のモノづくり思考の総合評価 ・検定試験や期末試験の総括と解説
61	成果発表準備 <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の制作物やプロジェクト成果をまとめる作業 ・プレゼンや制作物掲示の準備とレイアウト検討 ・学修成果を共有する機会の構築と運営準備
62	成果発表会 <ul style="list-style-type: none"> ・制作物やプロジェクトのプレゼンテーション実施 ・他者の意見を尊重し、主体的にディスカッションを行う ・目標到達者の掲示と相互評価の実施
63	年間授業総括 <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の到達目標の達成度確認とフィードバック ・1年間の学習の振り返りと今後の課題の整理 ・次年度に向けた学習目標の設定とキャリア展望
64	年間授業総括 <ul style="list-style-type: none"> ・各科目の到達目標の達成度確認とフィードバック ・1年間の学習の振り返りと今後の課題の整理 ・次年度に向けた学習目標の設定とキャリア展望

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（機械上級Ⅱ）	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋	
学 年	2年			教科番号	2C02	単位数 8.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修	
	△		○			
授業概要	CAD利用技術者試験1級 機械の取得を目指しながら、機械製図の仕方や製図記号、図面の読み方などを学ぶ					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ①機械製図における作図ルールに基づき、図面を描くことができる ②3Dデータから2D図面へ描き変えができる ③現実の物体を測定してCADでモデリングができる ④機構の知識・構造を学び、簡単なおもちゃを設計できる 					
教材名	・ 授業配布プリント					
資格の 取得目標	なし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして減速機・コンピュータ機器・エネルギー関連機器などの機械製図・Fusion360での組立図・デジタルモックアップについて授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の理解度をはかるため定期的に小テストを実施し、それも評価に含める。 ・ スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。 					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	60%	20%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	設計者に要求される資質 について
2	設計者に要求される資質 について ものづくりの体験ワークショップ
3	機械製図の基礎 について ・部品図 ・組立図 ・トレース演習「部品図と組立図」
4	機械製図の基礎 について ・部品図 ・組立図 ・トレース演習「部品図と組立図」
5	材料 について ・金属材料 ・非金属材料 ・材料記号 ・トレース演習「軸受」
6	材料 について ・金属材料 ・非金属材料 ・材料記号 ・トレース演習「軸受」
7	サイズ公差 について ・図面への記入方法 ・IT基本サイズ公差を基にしたサイズ公差の求め方 ・普通公差 ・はめあい ・トレース演習「軸受」
8	サイズ公差 について ・図面への記入方法 ・IT基本サイズ公差を基にしたサイズ公差の求め方 ・普通公差 ・はめあい ・トレース演習「軸受」

回数	講義内容
9	幾何公差 について <ul style="list-style-type: none"> ・種類と定義 ・デーラムと形体 ・図面への記入方法 ・トレース演習「平歯車」
10	幾何公差 について <ul style="list-style-type: none"> ・種類と定義 ・デーラムと形体 ・図面への記入方法 ・トレース演習「平歯車」
11	表面性状 について <ul style="list-style-type: none"> ・図示記号の種類 ・図面への記入方法 ・トレース演習「平歯車」
12	表面性状 について <ul style="list-style-type: none"> ・図示記号の種類 ・図面への記入方法 ・トレース演習「平歯車」
13	加工方法 について <ul style="list-style-type: none"> ・加工の種類 ・仕上げ ・表面処理 ・トレース演習「平歯車」
14	加工方法 について <ul style="list-style-type: none"> ・加工の種類 ・仕上げ ・表面処理 ・トレース演習「平歯車」
15	機械要素 について <ul style="list-style-type: none"> ・ねじの製図方法 ・軸、軸継手、軸受の製図方法 ・キー溝、ピン ・トレース演習「平歯車」
16	機械要素 について <ul style="list-style-type: none"> ・ねじの製図方法 ・軸、軸継手、軸受の製図方法 ・キー溝、ピン ・トレース演習「平歯車」

回数	講義内容
17	機械部品の作図 について ・機構の種類①リンク ・機構の種類②カム
18	機械部品の作図 について ・機構の種類①リンク ・機構の種類②カム
19	投影図からの作図 について ・第三角法を用いた三面図の作成
20	投影図からの作図 について ・第三角法を用いた三面図の作成
21	適切な数値からの作図 について ・表から練習用スパナの作図 ・トレース演習「やり形片ロスパナ」
22	適切な数値からの作図 について ・表から練習用スパナの作図 ・トレース演習「やり形片ロスパナ」
23	立体図からの作図 について ・コネクティングロッドの作図
24	立体図からの作図 について ・コネクティングロッドの作図

回数	講義内容
25	部品構成表BOMについての講義 身近な製品の分解を行い、BOMを完成させる
26	部品構成表BOMについての講義 身近な製品の分解を行い、BOMを完成させる
27	部品構成表BOMについての講義 身近な製品の分解を行い、BOMを完成させる
28	部品構成表BOMについての講義 身近な製品の分解を行い、BOMを完成させる
29	機構部品で動くおもちゃの設計 についての説明
30	機構部品で動くおもちゃの設計 についての説明
31	機構部品で動くおもちゃの情報収集
32	機構部品で動くおもちゃの情報収集

回数	講義内容
33	構想書の作成についての説明 ・テーマ ・コンセプト ・ターゲット ・新規性 ・拡張性 ・パテント
34	構想書の作成についての説明 ・材料 ・工法 ・コスト
35	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う
36	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う
37	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う
38	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う
39	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う
40	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書RevNの作成を行う

回数	講義内容
41	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
42	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
43	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
44	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
45	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
46	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
47	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う
48	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev1の作成を行う

回数	講義内容
49	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
50	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
51	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
52	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
53	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
54	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
55	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
56	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う

回数	講義内容
57	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
58	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
59	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
60	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書Rev2の作成を行う
61	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書 最終版の作成を行う
62	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書 最終版の作成を行う
63	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書 最終版の作成を行う
64	機構部品で動くおもちゃの設計と構想書 最終版の作成を行う

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	建築法規Ⅱ	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井	
学 年	2年			教科番号	2C03	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別		必修
	○					
授業概要	住宅計画を行いながら建築基準法を学修する。					
到達目標	建築基準法を参照しながら、木造2階建ての住宅の計画ができる。					
教材名	配布プリント					
資格の 取得目標	取得目標の定めなし					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして講義を通し建築法規について授業を行う					
履修に あたっての 留意点	<p style="color: red;">質問形式にて授業を進め、応対性を求める な建築物を意識する 品等の寸法 窓の位置、ドアの位置 階段の位置、手摺の位置、仕上げ材等を意識して見る)</p> <p style="text-align: right; color: red;">身近 (什器・備</p>					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	30%	40%	10%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	住宅計画と建築基準法 プランニング① 計画の進め方 ゾーニングの考え方の説明 用途地域について 建築面積・床面積(建ぺい率、容積率)
2	住宅計画と建築基準法 プランニング② 配置の決め方
3	住宅計画と建築基準法 プランニング③ 採光計算(採光補正係数) 採光・換気・排煙について
4	住宅計画と建築基準法 プランニング④ 平面図と立面図(デザイン) 木造軸組工法について
5	住宅計画と建築基準法 プランニング⑤ 24時間換気について
6	住宅計画と建築基準法 プランニング⑥ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
7	住宅計画と建築基準法 プランニング⑦ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
8	住宅計画と建築基準法 プランニング⑧ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める

回数	講義内容
9	住宅計画と建築基準法 プランニング⑨ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
10	住宅計画と建築基準法 プランニング⑩ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
11	住宅計画と建築基準法 プランニング⑪ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
12	住宅計画と建築基準法 プランニング⑫ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
13	住宅計画と建築基準法 プランニング⑬ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
14	住宅計画と建築基準法 プランニング⑭ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
15	住宅計画と建築基準法 プランニング⑮ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める
16	住宅計画と建築基準法 プランニング⑯ 学生オリジナルの木造2階建ての住宅の計画を進める

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	CAD実習（建築上級Ⅱ）		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	鯨井		
学 年	2年			教科番号	2C04	単位数	9.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別	必修		
	△		○				
授業概要	①Jw_cadの基本操作を学修する。 ②建築基準法を考慮した住宅設計及びJw_cadによる図面作成。 ③スタディー模型の作成						
到達目標	①住宅設計の基礎知識を習得し、木造二階建ての建築図面の作成ができる。 ②Jw_cadの各種コマンドを用いて、建築製図の基礎となる図面を作成し、図面としての体裁を整えることができる。						
教材名	配布プリント						
資格の 取得目標	取得目標の定めなし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	一級建築士としての業務経験を有する教員がその経験を活かして建築設計の基礎やCAD製図技法について授業を行う						
履修に あたっての 留意点	質問形式にて授業を進め、応対性を求める 身近な建築物を意識する （什器・備品等の寸法 窓の位置、ドアの位置 階段の位置、手摺の位置、仕上げ材等を意識して視る）						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	30%	40%	①0	20%		#NAME?	

回数	講義内容
1	断面図とは 断面図の役割 断面図の作成①
2	断面図の作成②
3	断面図の作成③
4	断面図の作成④
5	断面図の作成⑤
6	断面図の作成⑥
7	住宅計画 ・建築基準法 ・環境 ・構造
8	住宅計画 ・設備 ・インテリアデザイン ・施工 ・積算

回数	講義内容
9	住宅計画とJw_cadの基本入力① 配置図の作成
10	住宅計画とJw_cadの基本入力② 配置図の作成
11	住宅計画とJw_cadの基本入力③ 平面図の作成
12	住宅計画とJw_cadの基本入力④ 平面図の作成
13	住宅計画とJw_cadの基本入力⑤ 平面図の作成
14	住宅計画とJw_cadの基本入力⑥ 平面図の作成
15	住宅計画とJw_cadの基本入力⑦ 平面図の作成
16	住宅計画とJw_cadの基本入力⑧ 平面図の作成

回数	講義内容
17	ショールーム見学会
18	住宅計画とJw_cadの基本入力⑨ 立面図の作成
19	住宅計画とJw_cadの基本入力⑩ 立面図の作成
20	住宅計画とJw_cadの基本入力⑪ 立面図の作成
21	住宅計画とJw_cadの基本入力⑫ 立面図の作成
22	住宅計画とJw_cadの基本入力⑬ 立面図の作成
23	住宅計画とJw_cadの基本入力⑭ 断面図の作成
24	住宅計画とJw_cadの基本入力⑮ 断面図の作成

回数	講義内容
25	設計検討模型の制作①
26	設計検討模型の制作②
27	設計検討模型の制作③
28	設計検討模型の制作④
29	設計検討模型の制作⑤
30	設計検討模型の制作⑥
31	設計検討模型の制作⑦
32	設計検討模型の制作⑧

回数	講義内容
33	住宅計画とJw_cadの詳細入力 求積図 面積計算 面積表の作成 ①
34	住宅計画とJw_cadの詳細入力 求積図 面積計算 面積表の作成 ②
35	住宅計画とJw_cadの詳細入力 求積図 面積計算 面積表の作成 ③
36	住宅計画とJw_cadの詳細入力 求積図 面積計算 面積表の作成 ④
37	住宅計画とJw_cadの詳細入力 平面図の作成 ①
38	住宅計画とJw_cadの詳細入力 平面図の作成 ②
39	住宅計画とJw_cadの詳細入力 平面図の作成 ③
40	住宅計画とJw_cadの詳細入力 平面図の作成 ④

回数	講義内容
41	住宅計画とJw_cadの詳細入力 立面図の作成 ①
42	住宅計画とJw_cadの詳細入力 立面図の作成 ②
43	住宅計画とJw_cadの詳細入力 立面図の作成 ③
44	住宅計画とJw_cadの詳細入力 立面図の作成 ④
45	住宅計画とJw_cadの詳細入力 断面図の作成 ①
46	住宅計画とJw_cadの詳細入力 断面図の作成 ②
47	住宅計画とJw_cadの詳細入力 断面図の作成 ③
48	住宅計画とJw_cadの詳細入力 断面図の作成 ④

回数	講義内容
49	住宅計画とJw_cadの詳細入力 採光計算及び表の作成 ①
50	住宅計画とJw_cadの詳細入力 採光計算及び表の作成 ②
51	住宅計画とJw_cadの詳細入力 採光計算及び表の作成 ③
52	住宅計画とJw_cadの詳細入力 採光計算及び表の作成 ④
53	住宅計画とJw_cadの詳細入力 24時間換気計算及び表の作成 ①
54	住宅計画とJw_cadの詳細入力 24時間換気計算及び表の作成 ②
55	住宅計画とJw_cadの詳細入力 24時間換気計算及び表の作成 ③
56	住宅計画とJw_cadの詳細入力 24時間換気計算及び表の作成 ④

回数	講義内容
57	住宅計画とJw_cadの詳細入力 仕上表の作成 ①
58	住宅計画とJw_cadの詳細入力 仕上表の作成 ②
59	住宅計画とJw_cadの詳細入力 仕上表の作成 ③
60	住宅計画とJw_cadの詳細入力 仕上表の作成 ④
61	住宅計画とJw_cadの詳細入力 各図面の整合 ①
62	住宅計画とJw_cadの詳細入力 各図面の整合 ②
63	住宅計画とJw_cadの詳細入力 各図面の整合 ③
64	住宅計画とJw_cadの詳細入力 各図面の整合 ④

回数	講義内容
65	鉄骨造について
66	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 平面図(各部分の採寸)
67	Jw_cad鉄骨造の入力② 教室図面の作成 平面図(各部分の採寸)
68	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 平面図(各部分の採寸)
69	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 展開図(各部分の採寸)
70	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 展開図(各部分の採寸)
71	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 天井伏図(各部分の採寸)
72	Jw_cad鉄骨造の入力① 教室図面の作成 各図面整合

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	アプリケーション実習		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	佐藤リ		
学 年	2年			教科番号	2C05	単位数	4.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・実技	必修・選択の別		必修	
	△		○				
授業概要	Microsoft Word 2021, Microsoft Excel 2021の演習を交えつつ、サーティファイ主催の検定の合格を目指す						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下記の資格取得目標を達成するための知識と技術を身につける ・ 業務を効率的に行うための技術を身につける 						
教材名	30時間でマスター WORD&EXCEL2021 (Windows対応) (実教出版) 【デジタル問題集版】Word文書処理技能認定試験3級問題集 (2021対応) 【デジタル問題集版】Excel表計算処理技能認定試験3級問題集 (2021対応)						
資格の 取得目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ サーティファイ Word文書処理技能認定試験 3級以上 ・ サーティファイ Excel表計算処理技能認定試験 3級以上 8月のサーティファイ検定は全員受検とする						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性							
履修に あたっての 留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予習復習は、教科書の記載内容を中心に行うこと。 ・ 評価にあたっては、日々の取組み姿勢と8月の受験結果を特に重視する。 ・ 本授業でのAIの使用については、原則禁止とする。 ・ 授業とは関係のないサイトを開いたりしないこと。 ・ 遅刻、欠席や体調管理に気をつけること。 						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	30%	0%	30%	40%	0%	100%	

回数	講義内容
1	Wordの起動・終了、画面構成の理解 用紙サイズ・余白などページ設定の変更 フォント種類・サイズ・色の設定 太字・斜体・下線など文字装飾 段落配置(中央・右揃え)と行間設定
2	タブ設定 表の作成(行・列の指定) 行・列の挿入と削除の方法 セル内の文字配置(上下・左右) セルの結合と分割の操作
3	表スタイルの適用とデザイン変更 罫線の種類・色の設定 セル幅・行の高さの調整 均等割り付けによる整形
4	画像の挿入とサイズ変更 図形の挿入と編集 配置(前面・背面等)の設定 テキストボックスの活用
5	タイピング練習(200文字/10分目標) 正確な入力と変換のコツ 簡単な文章作成課題 実習問題による総合演習
6	ワードアートの作成と編集 文字効果(影・縁取り等)の設定 ヘッダー・フッターの設定
7	Word検定形式の問題演習 頻出操作の確認 時間配分の意識 解答手順の理解
8	検定問題の反復練習 弱点分野の補強

回数	講義内容
9	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
10	タイピング練習(250文字/10分目標) 検定問題の反復練習 弱点分野の補強
11	Excelの基本構成と用語の理解 セル・行・列の操作 データ入力演習
12	オートフィルによる連続データ入力 コピー、移動、貼り付けオプション 簡易表計算練習
13	基本数式の入力方法 SUM・AVERAGE 表示形式(数値・日付)の変更 表の装飾
14	タイピング練習(300文字/10分目標) 数式エラーの種類と対処法 スパークラインの作成 ワードアートの応用
15	タイピング練習(300文字/10分目標) グラフの作成(棒・折れ線など) データ範囲の選択方法 グラフのデザイン変更 タイトル・凡例の設定
16	関数・書式の総合活用 完成度のチェック

回数	講義内容
17	MAX・MIN・COUNT・COUNTA・RANK.EQ 相対参照と絶対参照 参照の仕組み理解
18	ROUND・ROUNDUP・ROUNDDOWN・INT IF・AND/OR/NOTの論理式
19	関数のネスト(入れ子) IFS・COUNTIF・SUMIF 条件付き計算の実践
20	タイピング(350文字/10分目標) 並べ替え(昇順・降順) フィルターによる抽出 条件付き書式の設定 テーブル機能の活用
21	VLOOKUP・HLOOKUP・XLOOKUP 検索範囲と戻り値の理解 データ検索演習
22	関数の総復習 複合問題の演習 ピボットテーブルの作成 集計・分析の基礎
23	Excel検定形式の問題演習 頻出操作の確認 時間配分の意識 解答手順の理解
24	検定問題の反復練習 弱点分野の補強

回数	講義内容
25	タイピング(400文字/10分目標) 検定問題の反復練習 弱点分野の補強
26	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
27	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
28	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
29	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
30	タイピング(450文字/10分目標) 検定問題の反復練習 弱点分野の補強
31	検定問題の反復練習 弱点分野の補強
32	検定問題の反復練習 弱点分野の補強

令和 8 年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	卒業研究	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	卒研担当/吉橋	
学 年	2年			教科番号	2C06	単位数 14.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別		必修
	△		○			
授業概要	2年間の総合的な学習成果として、グループで作品をつくる					
到達目標	①卒業研究の意義に基づいて立案した企画が、指導担当教員の承認を得ることが出来る ②自ら立てたスケジュールに基づき、作業を遂行し記録することができる ③グループで定めた完成目標に基づき、修得した知識・技能や自主的な調査・研究を行い、作品という形で具現化できる					
教材名						
資格の 取得目標						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員とゲーム開発企業で勤務経験のある教員がその経験を活かして卒業研究グループ制作を行う					
履修に あたっての 留意点	・提出物の項目は、完成度だけでなく提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ・授業態度の項目は、授業の終期に個人及びグループ総括を行い、作品及びグループへの貢献度も評価対象とする。					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割合	0%	35%	35%	20%	10%	100%

回数	講義内容
1	卒業研究の意義、卒業研究授業スケジュール管理について、提出フォルダ構成の説明
2	テーマ検討・決定、グループ編成
3	テーマ検討・決定、グループ編成
4	テーマ検討・決定、グループ編成
5	テーマ検討・決定、グループ編成
6	テーマ検討・決定、グループ編成
7	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
8	企画書作成・編集、週間作業報告書作成

回数	講義内容
9	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
10	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
11	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
12	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
13	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
14	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
15	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
16	企画書作成・編集、週間作業報告書作成

回数	講義内容
17	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
18	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
19	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
20	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
21	企画書作成・編集、週間作業報告書作成
22	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
23	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)
24	企画書作成・編集、週間作業報告書作成、中間チェック(企画書の内容を教員にプレゼンテーションする)

回数	講義内容
25	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
26	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
27	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
28	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
29	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
30	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
31	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
32	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
33	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
34	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
35	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
36	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
37	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
38	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
39	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
40	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
41	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
42	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
43	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
44	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
45	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
46	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
47	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
48	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
49	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
50	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
51	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
52	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
53	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
54	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
55	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
56	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
57	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
58	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
59	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
60	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
61	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
62	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
63	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
64	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
65	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
66	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
67	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
68	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
69	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
70	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
71	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
72	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
73	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
74	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
75	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
76	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
77	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
78	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
79	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
80	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成

回数	講義内容
81	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
82	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
83	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
84	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成
85	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
86	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
87	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
88	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出

回数	講義内容
89	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
90	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
91	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
92	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
93	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成 β版(動作確認が可能な)作品提出
94	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
95	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
96	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備

回数	講義内容
97	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
98	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
99	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
100	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
101	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
102	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
103	グループ作業、研究テーマ別作業、週間作業報告書作成、研究発表会準備
104	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)

回数	講義内容
105	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
106	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
107	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
108	グループ作業、個人作業、研究発表会準備、 発表前最終チェック(作品の内容を教員にプレゼンテーションする)
109	卒業研究総括
110	卒業研究総括
111	卒業研究総括
112	卒業研究総括

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	キャリアデザインⅡ		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	吉橋/坪井		
学 年	2年			教科番号	2C07	単位数	6.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別		必修	
	○						
授業概要	<p>キャリア教育を通じて、職業人として必要な責任感、誠実さ、協調性、柔軟性、倫理観を持ち、社会的・職業的自立に向けた基盤となる能力や態度を学び、修得する。そのために、実践行動学プログラムや、アサーショントレーニングなど複合的に学ぶ。</p>						
到達目標	<p>①学ぶこと、働くことの意義、多様性を理解する。 ②実践行動学や自己ブランディングや外部・内部講演などを通じて、自己理解が出来る。 ③自己の適性に合わせた内定先を見つけ、積極的な就職活動を行う。 ④規律ある学生生活を送る。 ⑤行事の意義を理解し、積極的に役割を持ち、参加する。</p>						
教材名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 夢実現のための実践行動学／実践行動学研究所出版 ・ 授業配布プリント 						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	自動車関連部品企業で設計業務に従事していた教員がその経験を活かして就職活動に必要な履歴書作成や面接練習等、就職指導を行う						
履修に あたっての 留意点	<p>①本教科の評価は、キャリアデザインルーブリックに基づく採点基準および口頭試問の結果をもとに、回答内容に応じて行われる。 また、学生も自己採点を行う。</p> <p>②行事の出席・取り組み状況も評価の中にも含める。 ③提出物の項目は、完成度だけでなく、提出期限が守られていたかなども評価対象とする。 ④スマートフォンアプリやwebでの動作検証、スマートフォンアプリやweb教材の参照、e-ラーニングでの学習を除きスマートフォンなどの使用は禁止する。</p>						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割合	80%	0%	0%	20%	0%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション、各種委員選出
2	2.就職活動について
3	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア1
4	就職活動指導
5	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア2
6	適職開発室講義(自己分析と職業選択)
7	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア3
8	校長先生講義(就職活動選考時の心構えと行動について)

回数	講義内容
9	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア4
10	就職部講義(人事担当からみた今年の学生の情報)
11	実践行動学Part3 社会にでる準備をはじめようマジックドア5
12	就職活動基礎知識の復習
13	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
14	就職活動指導(履歴書、自己PRブラッシュアップ)、個人ガイダンス
15	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)
16	就職活動指導(サイトの活用、企業との連絡の仕方)

回数	講義内容
17	就職活動指導(クラス内情報交換)
18	就職活動指導(クラス内情報交換)
19	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
20	就職活動指導(入社試験の種類、模擬試験)
21	就職活動指導(面接指導)
22	就職活動指導(面接指導)
23	就職活動指導(面接指導)
24	就職活動指導(面接指導)

回数	講義内容
25	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
26	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
27	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
28	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
29	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
30	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
31	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
32	就職活動指導(個人ガイダンス)、楠祭準備
回数	講義内容

33	就職活動指導(個人ガイダンス)
34	就職活動指導(個人ガイダンス)
35	就職活動指導(個人ガイダンス)
36	就職活動指導(個人ガイダンス)
37	就職活動指導(個人ガイダンス)
38	就職活動指導(個人ガイダンス)
39	就職活動指導(個人ガイダンス)
40	就職活動指導(個人ガイダンス)
回数	講義内容
	就職活動指導(個人ガイダンス)

41	
42	就職活動指導(個人ガイダンス)
43	就職活動指導(個人ガイダンス)
44	就職活動指導(個人ガイダンス)
45	就職活動指導(個人ガイダンス)
46	就職活動指導(個人ガイダンス)
47	就職活動指導(個人ガイダンス)
48	就職活動指導(個人ガイダンス)

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	企業実習		
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	担任		
学 年	2年			教科番号	2C08	単位数	2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	選択		
			○				
授業概要	企業や病院・施設でのインターンシップでの実践的な学修						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や病院の業務を直接体験することによって、基本姿勢を学ぶ。 2. 自分から積極的に挨拶ができるようになる。 3. 社会人として通用する立ち振る舞いを学ぶ。 4. 社会人として恥ずかしくない言葉遣いができる。 5. 自ら報告・連絡・相談ができるようにする。 6. 就職活動を真摯に行う心構えをつくる。 						
教材名	企業実習の手引き（プリント）						
資格の 取得目標	なし						
授業内容と 教員の実務経 験の関連性	企業で実務を行っている社員が経験を活かして実習指導を行う						
履修に あたっての 留意点	<p style="color: red;">事前事後指導も評価に含める 提出期限・報告・連絡・相談を厳守</p>						
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計	
割 合	0%	30%	20%	30%	20%	100%	

回数	講義内容
1	オリエンテーション 事前学習 1趣旨説明 2書類の説明
2	オリエンテーション 事前学習 3企業(病院)の選択 4実習日誌(目標)記入など 事前訪問
3	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
4	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
5	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
6	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
7	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
8	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する

回数	講義内容
9	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
10	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
11	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
12	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
13	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
14	企業・施設・病院にて実習を行い、終業時間前に日誌を記入する
15	事後実習 1お礼状の送付・報告会
16	事後実習 2実習報告書の作成・提出

令和8年度 年間授業計画（シラバス）

学科名	情報システム科			教科名	課題研究	
コース名	プロダクトデザイナー・CADコース			担当者	担任	
学 年	2年			教科番号	2C09	単位数 2.0
授業形態	講義	演習	実験・実習・ 実技	必修・選択の別	選択	
	○		○			
授業概要	各コースの実施内容やカリキュラムポリシーに則した課題を学生が設定し、調査・研究を行う					
到達目標	学生が設定した課題の完成目標に基づき、自主的な調査・研究を行い、担当教員が指示した形式(作品、文書、レポート等)にまとめることができる。					
教材名						
資格の 取得目標	研究内容により決定する					
授業内容と 教員の実務経 験の関連性						
履修に あたっての 留意点	課題研究のテーマについては、学生自身の自己研鑽、各学科・コースの学びに繋がる内容で、かつ主体的に行うこと					
評価基準	①試験・検定	②提出物	③授業態度	④出席状況	⑤外部評価	合計
割 合	0%	80%	0%	20%	0%	100%

回数	講義内容
1	課題研究のテーマと目標設定を行う
2	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
3	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
4	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
5	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
6	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
7	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
8	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う

回数	講義内容
9	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
10	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
11	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
12	設定したテーマと目標に基づき、調査・研究を行う
13	まとめ
14	まとめ
15	まとめ
16	まとめ